

# レプラと奇跡

## 脱神話化と脱医学化に向けて

堀 忠 [著]

A5判・上製・280頁・本体5,400円（税込定価5,940円）

ISBN 978-4-400-21335-2 C1016



## キリスト教の言説史をさかのぼる

聖書のレプラとは何を指していたのか。

この言葉はどのように受容され、

いかなる概念史を形成するに至ったのか。

古代キリスト教文献を中心とする膨大なデータベースから

実証的解明を試みた画期的労作。

著者 堀 忠 (ほり・ただし)

1953年神戸市生まれ。1978年大阪市立大学医学部医学科卒業、医師免許取得。2021年まで小児科医師として病院・診療所等で臨床業務に従事。2013年から関西学院大学大学院神学研究科にて歴史神学を専攻。2021年同研究科にて学位（神学博士）取得。2021年より関西学院大学大学院研究科研究員。訳書：W. R. ランバス『医療宣教 二重の任務』（2016年、関西学院大学出版会）。日本キリスト教団神戸栄光教会会員。

### 【目次より】

第一部 古代ギリシア医学と七十人訳聖書——言説史の背景をめぐって

第1章 医学文献におけるレプラとエレファンティアシス

第2章 ヘレニズム期ユダヤ社会における祭祀からの医術の独立の過程

第3章 レビ記13章2-46節の「脱医学化」のための試論

第4章 七十人訳聖書、新約聖書に見られるレプラの具体例

第二部 レプラ理解の形成と分岐——奇跡の神学をめぐって

第5章 キリスト教文献におけるレプラとエレファンティアシス

第6章 5世紀初頭におけるレプラとエレファンティアシス

第7章 クリュソストモスとアレキサンドリアのキュリロスにおけるレプラと奇跡の神学

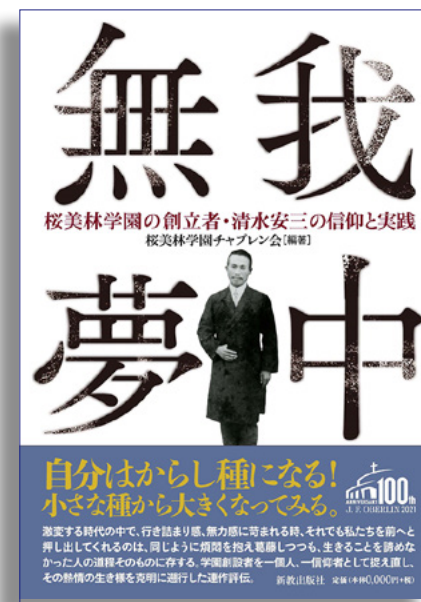
考察および結論

# 無我夢中

桜美林学園の創立者・  
清水安三の信仰と実践

桜美林学園チャプレン会 [編著]

A5判・並製・228頁・本体1,800円（税込定価1,980円）  
ISBN 978-4-400-21334-5 C1016



自分ばかりし種になる!  
小さな種から大きくなってみせる!

組合教会から中国宣教に派遣された清水は貧しい民衆と出会い、  
教育事業に乗り出して、崇貞学園を開く。

敗戦によってすべてを失った清水だが、なおも志を持続し、  
戦後ユニークな学園を築いた。

その無我夢中で型破りな信仰と人生を活写した、現代人必読の書。

## 【目次より】

第1章 生い立ちから洗礼まで——劣等感を越えさせる出会いと復活信仰

コラム1 “大陸の聖女”と呼ばれたクリスチャン——美穂と安三の協働

第2章 同志社時代——清水安三の信仰と神学の形成

コラム2 郁子の男女共学思想と安三との協働

第3章 中国での実践——清水安三—日本と中国、一衣帯水の間  
に橋を架けた人

コラム3 J.F.オベルラン（オベリン）の生涯と業績—その教育、  
或いは社会改革

第4章 アメリカ留学時代——十字架と清水の信仰

資料：清水のアメリカ時代の文章「わたしの神学観」

第5章 戦後の日本において——平和のメッセージ～桜美林学園

# 旧約聖書の平和論 神は暴力・戦争を肯定するのか

南野浩則 著

聖書は「平和の福音」と言われるが、一方で旧約聖書には戦争や暴力の記事が出てくる。「好戦的」にさえ見える旧約の神ヤハウエは、「あなたの敵を愛しなさい」とイエスが教えた愛の神と同じ神なのか？平和神学を奉じるメノナイトの旧約学者が、旧新約を貫く「平和のビジョン」を解き明かす。



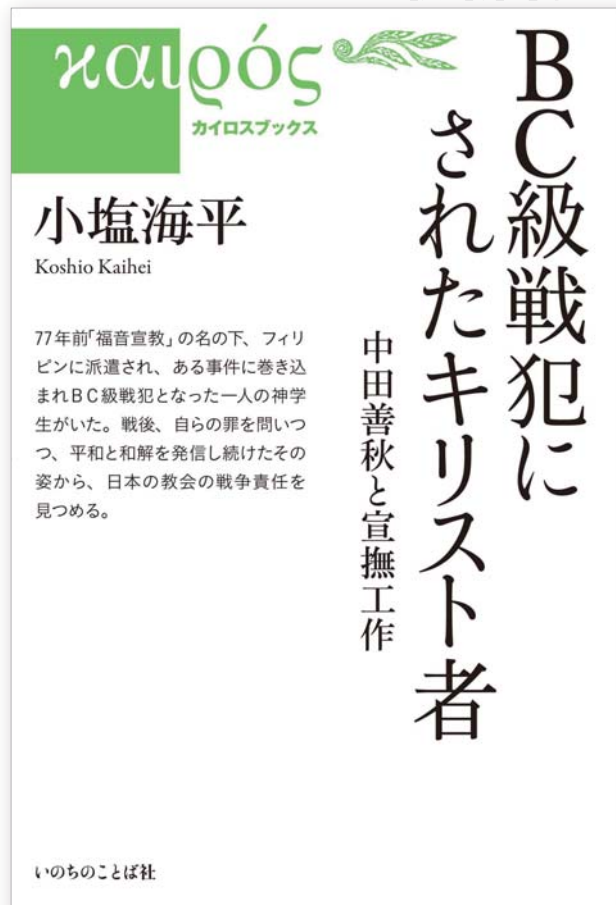
四六判 288頁  
定価2,200円(本体2,000円+税)  
ISBN978-4-264-04383-6 C0016  
いのちのことば社 卸コード 29815



南野浩則(みなみの ひろのり)

1963年 大阪市生まれ。1994年 福音聖書神学校卒業。2001年 M Div. (Old Testament) Mennonite Brethren Biblical Seminary, Fresno, CA 2005年 Ph. D. (Old Testament) University of Aberdeen, Scotland, UK. 現在、日本メノナイトブレザレン教団福音聖書神学校教務、日本メノナイトブレザレン教団石橋キリスト教会副牧師、大阪聖書学院非常勤講師、Asia Graduate School of Theology/ Japan 講師、東京ミッション研究所理事。著作『十戒シナイ契約・律法と山上の説教』『聖書を解釈するということ』(いのちのことば社)他

カイロスブックス  
シリーズ最新刊



# BC級戦犯に されたキリスト者

なかだ よしあき      せんぶ こうさく  
中田善秋と宣撫工作

小塩海平 著

77年前「福音宣教」の名の下、フィリピンに派遣され、ある事件に巻き込まれBC級戦犯となった一人の神学生がいた——戦後、自らの罪を問いつつ、平和と和解を発信し続けた中田善秋。その遺した著作や証言から、日本の教会の戦争責任を見つめる。

四六判 104頁 定価1,100円(本体1,000円+税)  
ISBN978-4-264-04380-5 C0016  
いのちのことば社 卸コード 29515